



## 2月4日 第56回ピンポンフェスティバル 一球入魂！はつらつプレーに汗を流す

村スポーツ協会(保坂秀登<sup>ひでと</sup>会長)主催の第56回ピンポンフェスティバルが、社会体育館で開催されました。

今年は、27チーム197人が参加。大会はダブルス制で行われ、AクラスからCクラスまでの3グループに分かれ対戦。各コートでは、優勝を目指して白熱した試合が繰り広げられました。

クラス	優勝	準優勝	第三位
Aクラス	生越A	ハムスターⅡ	スピリタス96A
Bクラス	スピリタス96B	常木	還暦A
Cクラス	みのり会	L(エル)	ミックスベジダブルB



多くの参加者で盛り上がった会場



狙いを定めてスマッシュ!!



元気にはつらつプレー



ラリーの応酬



## 1月24日、25日、26日 給食試食会 学校給食に舌鼓

村学校給食センターでは1月24日から3日間、学校給食試食会を実施しました。

これは、1月下旬の「全国学校給食週間」にあわせ、地域の人たちに美味しく安全な給食を試食してもらい、学校給食への理解と関心を深めてもらおうと実施しています。

24日に行われた学校給食試食会には23人が参加しました。この日は、昭和中学校秋元校長先生の思い出の献立が試食に並びました。



学校給食を味わう参加者



## 2月3日 巨大ソーラーバルーンをあげよう 太陽の力で浮き上がる

太陽光を利用して手作りのバルーンを空中に浮かせる親子体験「巨大！ソーラーバルーンをあげよう！」が、利根沼田父親クラブのこれからを語る会と利根サイエンスクラブの主催により、2月3日、東小学校の校庭で行われました。

参加者の協力で作成されたソーラーバルーンが、太陽の光を浴び、みるみる巨大化していく様子に子どもたちは大興奮。校舎を超えるほど高くそびえる巨大ソーラーバルーンを見上げて歓声をあげていました。



太陽の光を集め巨大化するソーラーバルーン



ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

## 2月20日 藤森工業(株)が地域貢献 防犯ブザーと連絡帳を寄贈

藤森工業株式会社(ZACROS・布山英士代表取締役社長)が、村内の小学1年生に防犯ブザー45個と、1年生から3年生に連絡ノート150冊を寄贈しました。

昨年に引き続き行われたこの寄贈について、同社は「地域があつての会社。地域に根付いた会社として、地域に貢献していければと思う。また、わが社の企業コンセプトである"包み、守る"から地域の子もたちを守るものとして、有効に活用していただければ」と述べました。



寄贈された防犯ブザーと連絡ノート

## 2月13日 優良交通指導員表彰 新木さん・倉澤さんに感謝状

交通指導員隊長の新木正光さん(椽久保南)と副隊長の倉澤眞幸さん(宮貝戸)に、群馬県優良交通指導員表彰の部から感謝状が贈られました。新木さんと倉澤さんは、交通指導員として6年間にわたり活動され、地域の交通安全活動や、各学校・保育園の交通安全教室などを通じ村の交通安全に尽力されました。新木さんは「村民の交通安全意識向上に少しでも貢献できていたら幸いです」、倉澤さんは「6年間で多くの子どもの成長を目の当たりにし、感慨深く感じます」と話します。



感謝状を受け取る新木さん(左)と倉澤さん

## 2月23日 入原住民センターが完成 新たな地域コミュニティ拠点が完成

入原区(堤錦之輔区長)の新たな地域コミュニティ活動の拠点となる、入原住民センターが完成しました。この建物は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金で整備したものです。住民センターはバリアフリーに配慮し、子どもから高齢者まで幅広く利用できる施設となりました。

堤入原区長は「長年の懸案だった住民センターを無事立て替えることができ、大変うれしい。関係各所のご協力に感謝したい」と話していました。

◆コミュニティ助成事業とは…(一財)自治総合センターが、全国自治宝くじの受託収入を財源に行っている助成事業。地域コミュニティ活動の充実と住民福祉の向上に寄与しています。



新たな地域コミュニティ拠点が完成

## 2月17日 生涯学習大会 弁護士の菊地さんが人権講演

第29回昭和村生涯学習大会が村公民館で開催されました。弁護士として民事・刑事・学校・教育問題などを広く手がけられ、日本テレビ系列の「行列のできる相談所」でおなじみの菊地幸夫さんを講師に招き「人権教育のあり方 人権って何?」と題した講演が行われました。また、講演前には東小学校の児童たちによるいじめ防止活動の取組発表も行われました。

この日は約90人の村民が来場し、人権教育のあり方について耳を傾けました。



講演を行う菊地さん(左)、取組発表を行う児童たち(右)



## 2月3日 遍照寺で節分会 無病息災願い鬼踊り

遍照寺（榎本<sup>さいしん</sup>最紳住職）で昭和元三大師節分会が開かれました。今年で13回目となる節分会では、関東唯一の鬼法楽（鬼踊り）が行われ、人間の煩惱を表した赤、青、白の鬼がゆっくりと境内を練り歩きました。



境内を練り歩く鬼たち

## 2月15日 能登半島地震義援金 復興へ思いを込めて

昭和村に花火を上げる会（高瀬<sup>みのる</sup>実会長）が、ウインターフェスティバル2024で集めた能登半島地震に対する義援金を村に手渡しました。お預かりした義援金は日本赤十字社を通して被災地へ届けられます。



堤村長へ義援金を手渡す

## 1月27日 第46回スキー教室 雪上を楽しく滑走

村スポーツ協会主催による第46回スキー教室が、かたしな高原スキー場で開催されました。教室には13人が参加し、個々の技術レベルに合わせて丁寧なレッスンが行われました。



講師の話に耳を傾ける参加者

## 2月2日 第一保育園で豆まき 元気いっぱい「鬼は外！」

村内各保育園で、節分の豆まきが行われました。第一保育園では、園児たちの前に迫力のある赤鬼が登場。園児たちは元気に豆を投げ、鬼を退散させていました。



鬼に豆をまく園児たち

## 2月12日 第75回上毛かるた競技県大会 赤城高原子ども会が入賞

第75回上毛かるた競技県大会が前橋市のALSOKぐんま武道館で開かれ、県内から集まった代表者同士で競い合いました。村の代表として中学校団体の部で出場した赤城高原子ども会がみごと5位に入賞しました。



中学校団体の部で入賞した赤城高原子ども会の皆さん

## 2月22日 横浜食肉市場・第5回関東甲信越フェア 新和農産の和牛が最優秀賞

横浜市中央卸売市場食肉市場で開かれた第5回関東甲信越フェア・和牛の部で、(有)新和農産(新木正男代表取締役)の和牛がA5ランクの中でも品質の高さが評価され、最高賞となる最優秀賞に輝きました。



和牛の部で最優秀賞に輝く